

事業活動収支計算書

令和 4年4月 1日

令和 5年3月31日

(単位:千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
		教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,483,245
手数料	12,090			11,863	227
寄付金	28,400			26,438	1,962
経常費等補助金	185,189			189,418	△ 4,229
国庫補助金	129,000			133,127	△ 4,127
東京都補助金	56,089			56,184	△ 95
埼玉県補助金	100			107	△ 7
付随事業収入	21,161			22,998	△ 1,837
雑収入	71,465			73,496	△ 2,031
教育活動収入計	1,801,550			1,807,458	△ 5,908
事業活動支出の部	人件費		802,817	797,239	5,578
	教育研究経費	791,366	778,654	12,712	
	管理経費	308,699	303,748	4,951	
	徴収不能額等	730	0	730	
	教育活動支出計	1,903,612	1,879,642	23,970	
教育活動収支差額		△ 102,062	△ 72,184	△ 29,878	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	1,790	1,318	472
		その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計		1,790	1,318	472
	事業活動支出の部	借入金等利息	628	614	14
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	628	614	14
教育活動外収支差額		1,162	704	458	
経常収支差額		△ 100,900	△ 71,480	△ 29,420	

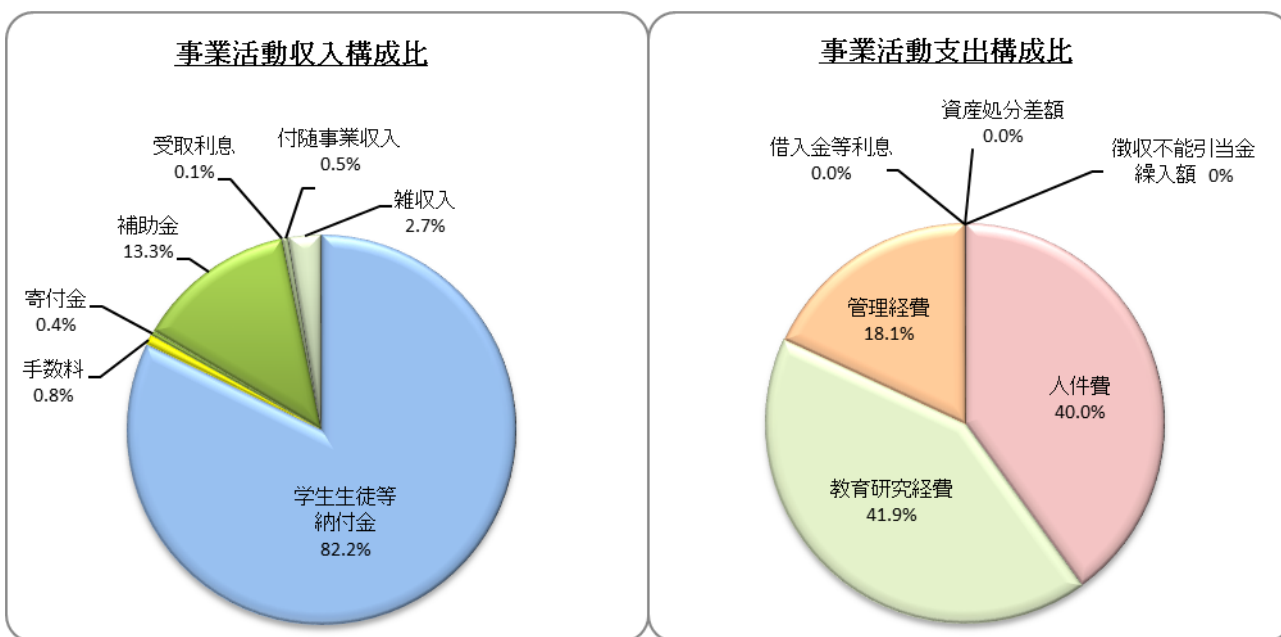
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	4,026	4,643	△ 617
		特別収入計	4,026	4,643	△ 617
事業活動支出の部		資産処分差額	4	60	△ 56
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	4	60	△ 56
		特別収支差額	4,022	4,583	△ 561
		[予備費]	[0]		0
		基本金組入前当年度収支差額	△ 96,878	△ 66,897	△ 29,981
		基本金組入額合計	0	△ 10,000	10,000
		当年度収支差額	△ 96,878	△ 76,897	△ 19,981
		前年度繰越収支差額	△ 2,590,822	△ 2,590,822	0
		基本金取崩額	41,333	41,601	△ 268
		翌年度繰越収支差額	△ 2,646,367	△ 2,626,119	△ 20,248
(参考)					
		事業活動収入計	1,807,366	1,813,419	△ 6,053
		事業活動支出計	1,904,244	1,880,317	23,927

■当年度収支差額5か年推移

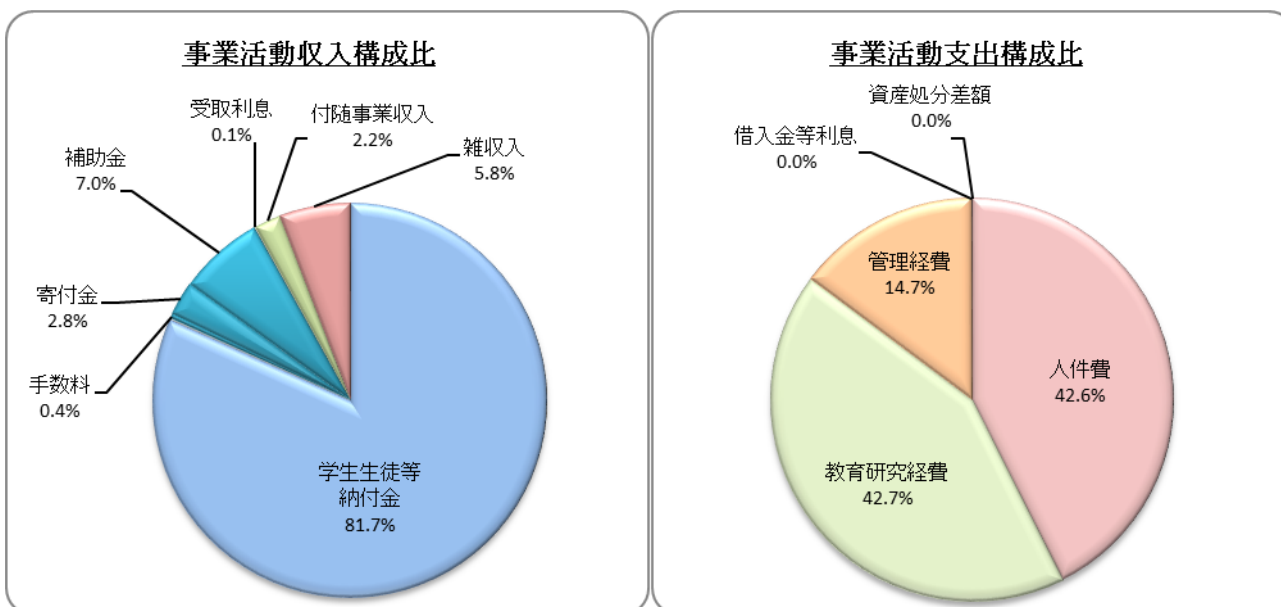
(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業活動収入の部合計	1,841,507	1,903,366	1,923,982	1,865,168	1,813,419
事業活動支出の部合計	2,019,524	1,835,666	1,884,496	1,949,096	1,880,317
当年度収支差額	△179,791	58,339	34,878	△108,929	△76,897

■短期大学 事業活動収入・事業活動支出構成比



■専門学校 事業活動収入・事業活動支出構成比



《教育活動収支》

教育活動収入計は18億746万円で、予算額をやや超過しました。前年度の18億5,480万円を下回っているのは、資金収支計算書と同様、学生生徒等納付金が減少したためです。

教育活動支出計は18億7,964万円で、予算額を2,400万円下回りました。資金収支計算書と同様に、教育研究経費、管理経費が予算額未達であったためです。

収入の減少により、教育活動収支差額は7,220万円の支出超過となりましたが、予算額は上回りました。

《教育活動外収支》

特定資産の増額により受取利息が令和3年度より増加しています。借入金利息は予算額どおりです。

《経常収支》

教育活動収支差額が大幅な支出超過となったため、経常収支差額も支出超過となりました。

《特別収支》

その他の特別収入は、現物寄付と施設設備補助金(私立専修学校教育環境整備費助成金)です。

《収支差額》

基本金組入前当年度収支差額は6,690万円の支出超過となり、川口学園奨学基金の増額に伴い第3号基本金の組入れを行ったことにより、当年度収支差額は7,690万円の支出超過となりました。

第1号基本金は、施設・設備の更新により4,160万円の取り崩しとなったため、翌年度繰越収支差額は△26億2,612万円、予算額△26億4,637万円よりやや好転しました。